

# 週間漁海況情報 2026年第2号

令和8年1月13日発行

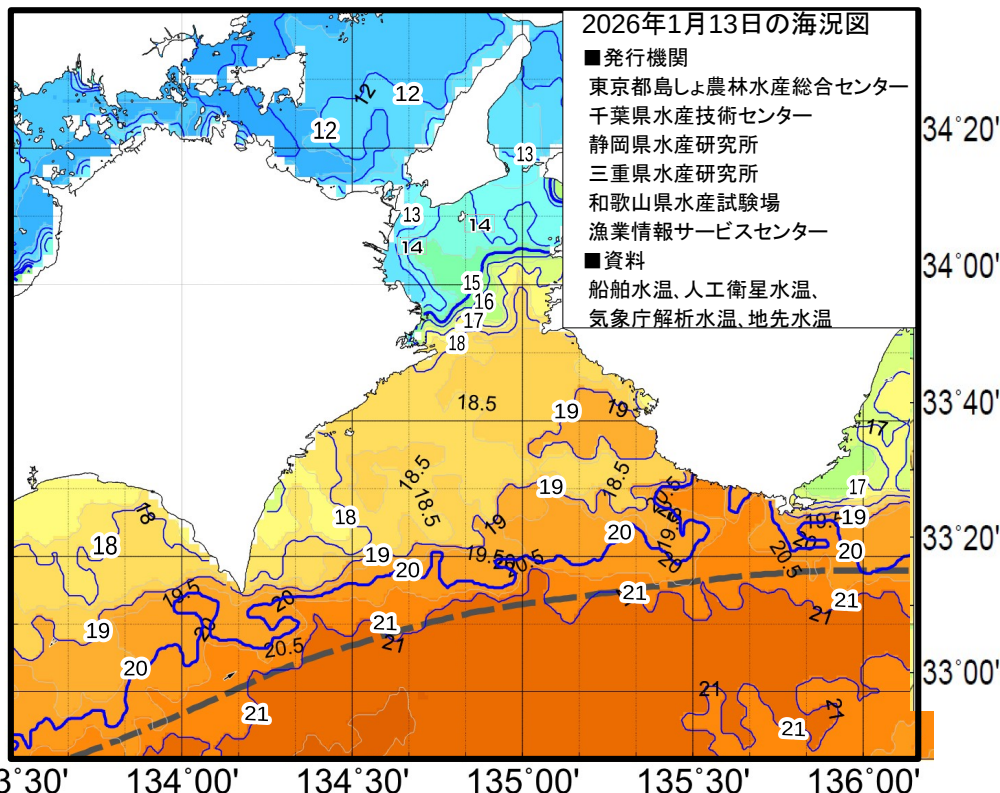
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で11～12、紀伊水道で12～17、海部沿岸で17～18℃台となっている。



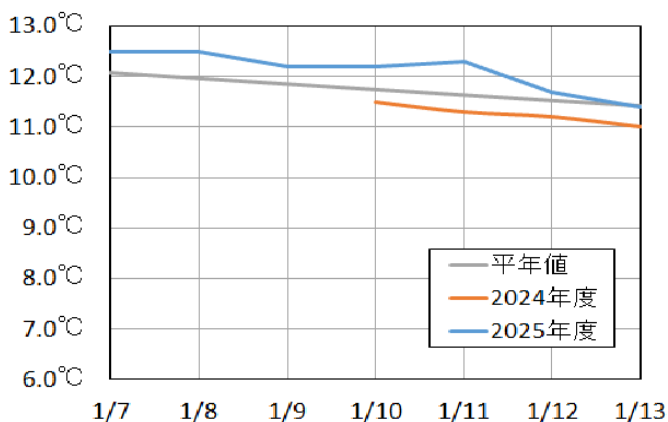
※黒潮の離接岸の表現  
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～  
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

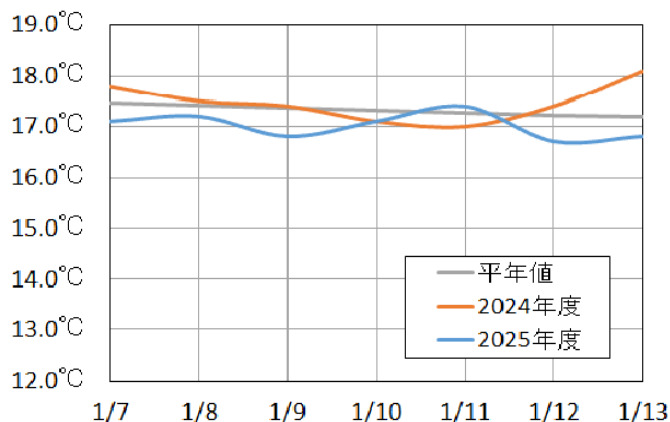
### 2. 地先水温(1月7日～1月13日)

鳴門地区の水温は、12.5～11.4℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。浅川地区は、17.4～16.7℃で「やや低め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、4.6～5.4℃だった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(1月14日～1月20日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

## 漁況

(1月5日～1月11日)

### 1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが大きく増えて17ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が大きく増えて0.8ト、

サワラが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

底びき網では、モンゴウイカが大きく増えて1.2ト、

マダイが大きく増えて0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に2.3ト、

ブリがめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

### 2. 海部沿岸（標本漁協：4）

小型定置網では、アオリイカが大きく増えて小小主体に0.8ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えて2.2ト、マアジが大きく増えて1.2ト、

サワラが大きく増えて1ト、マサバが大きく増えて0.5ト、

マルアジが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	49	シラス	17,010	347		↗↗
	延縄	66	あまだい類	845	13		↗↗
		20	サワラ	488	24		↗↗
	底びき網	22	モンゴウイカ	1,227	56		↗↗
		17	マダイ	572	34		↗↗
	小型定置網	22	マアジ	2,278	104	豆あじ級主体	↗
		12	ブリ	323	27	めじろ級主体	→
海部沿岸	小型定置網	54	アオリイカ	818	15	小小主体	↗↗
	大型定置網	6	ブリ	2,238	373		↗↗
		6	マアジ	1,185	198		↗↗
		6	サワラ	1,013	169		↗↗
		6	マサバ	457	76		↗↗
		6	マルアジ	331	55		↗↗

※ 前週比    200%以上:↗↗   120-200%:↗   80-120%:→   50-80%:↘   50%未満:↘↘